

2022 年度課題研究指導実施方針

教 員 名	河野秀孝
指導分野	1. ミクロ経済学の応用分野、特に国際経済学（貿易論）と農業経済学。 2. 基礎分野として、ミクロ経済学、計量経済学（需要分析と生産分析）、応用一般均衡分析、産業連関分析。
指導方針（指導の概要・日程等）	[修士論文] 理論面では、皆さんがミクロ経済学や国際貿易論で、既に履修済みの基本的モデルから出発し、理論モデルの応用側面に焦点をあてます。近年の目覚ましい理論及び実証モデルの発展にも言及し、体系的論理的思考のもとに実証研究のための理論仮説を導くことが出来るようになることを目指します。 実証面では、皆さんが論理的に導出した仮説の検証をどのように行うかを考えます。仮説が、自分だけの思い込みでなく、論文課題の本質を浮き彫りにしているかを、データでもって検証出来るようになることを目指します。様々な検証の方法に関しても、過去の論文を参照しながら、また、皆さんの創意工夫を促す指導を考えております。 この課題研究は、皆さんがこれまで履修した経済理論の応用で、毎日の経済現象を題材とした体系的論理的思考の訓練であると考えてください。まず、論文のテーマが問題であり、よく絞り込まれていること。そして、どのような視点から論理の枠組み（モデル）を構築し、どのような方法で仮説の検証をするかを課題研究の主な目的とします。また、皆さんの自主性を重んじた指導を考えています。ともに学び、学問の楽しさを少しでも味わっていただければ幸いです。 以上のことを考えるために、常に問題意識を持ち、少なくとも週に一度はコンタクトしてください。 学期中の論文執筆は以下の順序で進めていく予定です。 1. 日ごろの経済現象を題材として論文執筆するわけですが、まず何が経済問題として分析の対象になりえるかを考えてみる。 2. テーマを絞り込むために、関係ある過去の文献を読みながら、どこまで研究されていて、どこが未だなされていないのかを明確にするため、問題背景の論文の系譜を調べる。この際、教員との議論を重ねることが重要となります。 3. テーマを絞り込み、過去の論文との比較で、執筆論文の位置付け、視点の違いを明確にする。 4. 独自の視点を反映させた論理体系を構築し、検証可能な論理的仮説を導く。 5. 必要なデータを収集し、計量的に論理的仮説の検証をする。 [研究調査] 同上